

キャラクター名

プレイヤー名

環 閑久（あらたま しずく）

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	華の女子高生
	エンジェルハイロウ					
オプショナル			年齢	17	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	殺戮		初期侵食率	37%
出自	有名人	経験	親友		邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	0	1		1	行動値	24
感覚	6	1	0		4	11	(非装備時)	24
精神	2	0	0			2	戦闘移動	29
社会	0	0	0	1		1	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
(100%未満)	射撃	11r+4	-	16		コスト7(光の銃除く)
(100%以上)	射撃	14r+4	-	49		範囲選択(至近以外), コスト14(光の銃除く)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
コネ：UGN幹部		ロイス			
コネ：噂好きの友人					
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		実験体(ロストナンバー)	P	N	
		御影=アスタ=玲(PC1)	P 同情	N 侮蔑	
		千木良 心(PC2)	P 尊敬	N 憐憫	
		鈴木 結衣(PC4)	P 友情	N 悔悟	
		東一条 雛子(PC4)	P 庇護	N 憐憫	
		両親	P 幸福感	N 不安	
		玉野 椿(NPC)	P 懐旧	N 劣等感	
		最大財産P:	2	残り財産P:	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
マスヴィジョン	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	100	
効果：攻撃力+[LV*5] シナリオ3回								
小さな塵	1	2	メジャー	武器	-	<射撃>	-	
効果：攻撃力+[LV*2]								
コンセントレイト (エンジェルハイロウ)	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：CRT-[Lv] 下限7								
レーザーファン	2	3	メジャー	-	範囲選択	シンドローム	-	
効果：シナリオLv回(至近はダメ)								
光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：攻撃力+[Lv+2]の武器を作る								
オプティカルレンズ	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：攻撃力+[感覚]1シーンLV回								
七色の直感	★	-	メジャー	視界	単体	-	-	
効果：<知覚>vs<意思>感情をオーラのように、容態の変化も								
真昼の星	★	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果：視覚が極大に								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「人の世に熟あれ、人間に光あれ」
「人を救う家に生まれ、人を殺す光を持ってしまった少女が、自分の殺戮を“救済”と呼んで生きている」

【経歴】
~2009年1月1日、家族経営の小児科「あらたま小児科」を営む夫婦、環家の長女として生まれる（一人っ子）。
~2012年3月3日。「あらたま小児科」は連続小児科患者殺人事件*の犯人による襲撃を受ける。
（連続小児科患者殺人事件*・・・2011年末から起こっていた連続殺人事件。対象になったのは小児科の患者および医者である。後の警察(R担)の調べにより、犯人はジャームとの交通事故で最愛の娘を亡くし、自身も大怪我により覚醒したオーヴァードであることが明らかにされている。娘を助けられなかった小児科医や、娘と違って生きながらえている小児科患者を恨めしく思い犯行に至った。）
当時「あらたま小児科」で入院していた患者は全員死亡、閑久の両親にも手がかけられたがその際に閑久が覚醒。光の弾丸が犯人を蜂の巣にした。閑久本人には当時の記憶はほとんど残っていないが、その時の光の弾丸の明るさと暖かさは覚えており、後年、「私の光は、世の中を平等にするための光。死を与えようとする者に、死を与えるのが私の光による救済」と語っている。
~事件後閑久の両親は小児科を畳み、数年は、娘の暴走を防ぐことに追われる日々となった。当時はまだUGNの知見も浅く協力も乏しい中、独学で小児のレネゲイドウイルスの感染、およびオーヴァード化への対応を行った。幸いにも閑久が5歳になる頃には自身で制御することが可能になった。この経験を活かし閑久の両親は新たに「環医院」を開業。小児オーヴァードの治療から暴走を防ぐ訓練などを行なっている。UGNや神城グループもその経緯を知っており、手腕を買って度々利用している。
~閑久本人は小学生の時は感覚の敏感さに苦しめられる日々だった。視力は300万あり、聴覚、嗅覚、触覚、味覚すべてが飛び抜けているの一言では説明できないほどだった。そのため小学校には通っていなかった。弊害として、体を動かす機会が少なかったため体力は少なく、一般常識には疎く、教養もなく、社会性が無い。一方でその感覚から音楽や絵画では天賦の才を発揮し、小学生でとった賞は数えきれない。
~小学生の頃からUGNチルドレンとして活動をしている。玉野 椿はその時の同僚であり、オーヴァードとしての先輩であり、それでも年上なのでお姉ちゃんとして慕った。小学校に行っていない彼女にとって両親を除いて一番親しい者であった。
~中学生にもなると感覚をコントロールすることが徐々にできるようになったため、普通に通学を開始。勉強についていくのは絶望的だったが、勤も鋭くテストは